

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻を主体とした中間農業地域。
- ほ場整備を契機に担い手への農地集積が進んでいるが、高齢化や後継者不足による担い手の育成・確保、分散している農地のブロック単位での集積が急務。

【支援内容・背景】

- 地域の中心となる経営体の生産性向上に対応して、作業の効率化と低コスト生産を支援する必要。
- 助成対象者は水稻と畜産（食用馬）の大規模複合経営に取り組む町を代表する担い手であり、ほ場整備を契機に経営面積の拡大を図るとともに、先導的にスマート農業を実践。このため、地区における水稻・畜産の大規模複合経営の経営力強化の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「株式会社十三湖ファーム」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成25年 地域の担い手2戸で法人設立（株式会社）
- 平成30年 農業経営改善計画認定

《事業活用の背景》

○ 水稻の経営面積を拡大しながら生産性の向上を図るためには、作業の効率化やコストの削減が必要。水稻の収穫作業の効率化に資する高性能農業機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○売上高 184百万円
○経営面積 94.4ha
(水稻)

《事業による整備内容》

○食味・収量センサー付コンバイン 1台
事業費 14,960千円
(国費 3,000千円)



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

○売上高 203百万円 (110%)
○経営面積 130ha (138%)
(水稻)

事業の
効果

《対象者》 水稻の効率化、低コスト化が図られ、経営面積の拡大と売上高の増につながる。

《地区》 水稻の生産体制の強化が図られ、水稻・畜産の大規模複合経営の取組モデルとして地域農業の発展に貢献。